

第59回
愛知県
学校図書館研究大会

分科会提案発表

読書センター／学習・情報センター



豊田高校の図書館運営実践報告

朝の読書を起点とした読書推進活動

みんなで創る学校図書館

愛知県立豊田高等学校
図書・研修部 樹神 恵美



1 はじめに

本校は創立40年（昭和58年開校）の全日制普通科の学校で、平成29年度から医療看護コースを設置した。「誠実、自主、創造」の校訓の下、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指す。自己の進路目標の実現に向けた学習と活気にあふれた部活動との両立、読書タイムを起点とした読書、言語活動の推進を柱に、生徒と教員が一体となって活動している。

2 図書館について

(1) 本校図書館の活動目標は、読書タイムの推進役を担うことを第一に掲げている。質の高い読書習慣を育み、心豊かな生活を築かせるために、生徒に本を手にとってもらえるような選書に努めるとともに、居心地のよい図書館作りを心がけている。

(2) 図書館利用の実態は、携帯電話の普及とともに凶書の貸出数が減少しており、少しでも多くの生徒が図書館に入館し、書籍に触れる機会を作りたいと、教職員も工夫をしてきた。さらに委員会活動を活性化し、生徒目線で主体的に企画する活動を増やしており、昨年度は大幅に入館者数を増加させることができた。（本校の現状資料①から⑤参照のこと）





月見企画 | 読書会

宇宙論

月の裏側

豊高50冊

Oxford Reading Tree
(Stage 3, Stage 4)

House for Sale

The Kipper

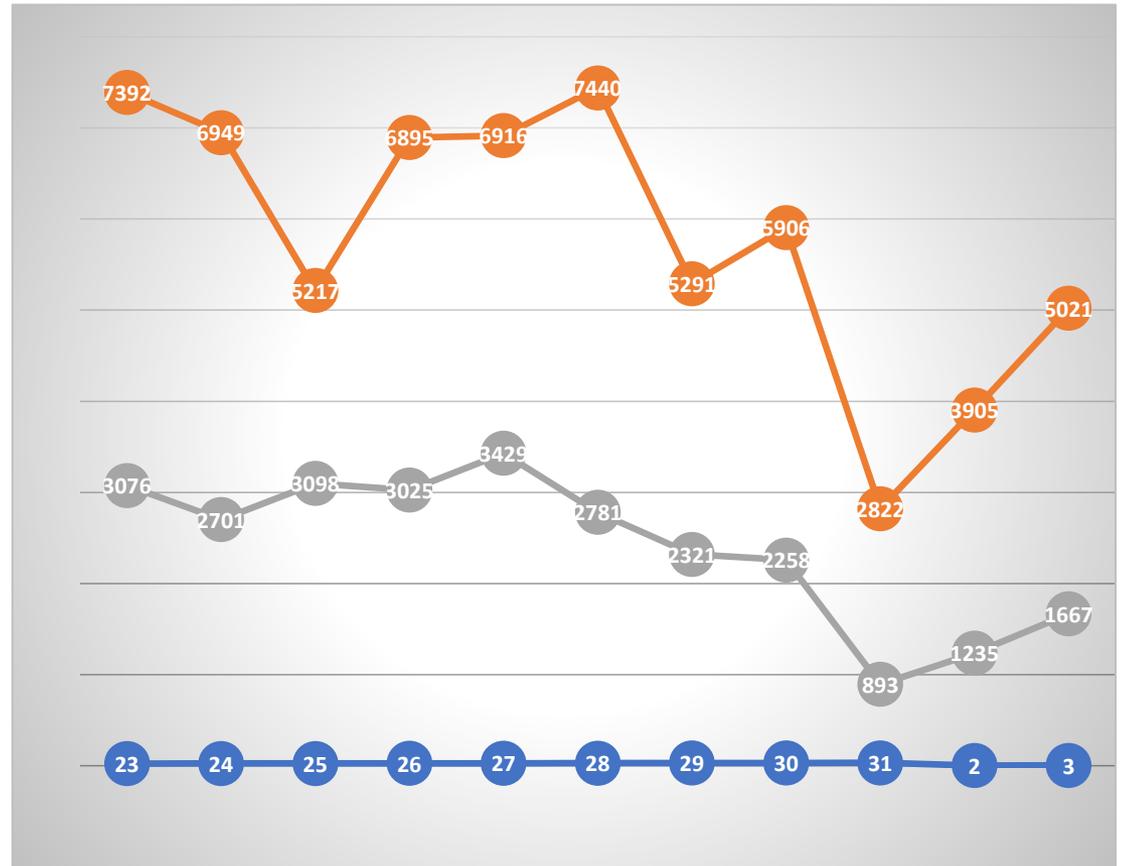


図書館利用の実態 資料

平成23年から令和3年度まで
(青)の入館者数(赤)と、
貸出数(灰色)変化

一人当たりの貸出数は、平成
23年度と27年度は3冊を超えて
いたが、他は3冊を切るように
なった。クラス数は変化あり。

- *平成31年11月～令和2年3月末校舎
改修工事のため5か月間閉館
- *令和2年3月から5月コロナ感染症予
防による休校
- *令和2年3年はコロナ感染症予防の
ため図書館オリエンテーション簡略
化



令和3年度 読書週間図書館アンケート結果

令和3年度 読書週間図書館アンケート結果							
1 普段、本に関する情報はどこから得ることが多いですか。複数回答可 (%)							
	ネット	本屋	TV	知人	図書館	雑誌	新聞
1年	34	24	12	18	8	3	1
2年	34	26	14	16	6	3	2
3年	34	29	12	16	5	3	1
2 1ヶ月間に、約何冊の本を読みましたか。 (%)							
	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊以上		
1年	41	29	14	3	13		
2年	54	24	11	1	10		
3年	51	25	11	6	7		
3 あなたが日頃、読書するときに読むのはどちらですか。 (%)							
	紙の書籍	電子書籍					
1年	76	24					
2年	71	29					
3年	76	24					
4 本年4月以後、本校図書館で約何冊の本を借りましたか。 (%)							
	0冊	1～5冊	6～10冊	11～20冊	21冊以上		
1年	67	28	3	2	0		
2年	85	11	2	2	0		
3年	86	12	1	0	0		



5 今年度の図書館企画のうち、来館したもの。複数回答可 (人)

	購入図書	ナツイチ	お光の片付け	七夕	お月見・スグダリ
1年	19	12	1	21	16
2年	11	13	8	10	14
3年	7	6	0	5	8

6 今年度の常設展示のうち、利用したもの。複数回答可 (人)

	50冊	進路	新聞	看護	修学旅行	雑誌
1年	38	9	0	5	1	31
2年	22	15	4	5	5	16
3年	14	23	2	9	5	5

7 図書館からのお知らせを何で知りますか。(%)

	図書だより	先生・友人	掲示	その他
1年	32	44	17	7
2年	49	31	14	6
3年	49	32	15	4

8 読書タイム等の本を選ぶ基準は何ですか。(%)

	目に付く	話題作	作家	ジャンル	知人推薦	部活関係	進路関係	授業関連	その他
1年	33	20	14	16	12	2	0	0	2
2年	33	20	15	17	9	1	1	1	1
3年	32	18	16	16	8	1	4	1	3



9	読書タイムの本はどこで入手しますか。(%)								
	書店	家の本	友人借用	高校図書	校外図書	その他			
	1年	53	31	8	5	1	2		
	2年	55	31	8	4	2	1		
	3年	59	27	8	3	2	1		
10	読書タイムの効果は何ですか。(%)								
	落ち着き	興味	集中力	学習	進路	その他			
	1年	38	36	17	3	1	6		
	2年	39	34	16	6	2	4		
	3年	38	29	16	12	3	3		
11	好きな作家をあげてください。(人)			12 感銘を受けた本の書名(人)					
	1	住野よる	162	1	君の臍臓を食べたい	283			
	2	東野圭吾	131	2	君は月夜に光り輝く	196			
	3	湊かなえ	98	3	君の名は	141			
	4	新海誠	97	4	ぼくらの七日間戦争	99			
	5	尾田栄一郎	93	5	ヴァイオレット・エヴァーガーデン	95			



*前頁の続き 好きな作家 好きな作品
6位以下。右側の数字は人数

6	夏目漱石	76	6	君たちはどう生きるか	85
7	太宰治	52	7	ソード・アート・オンライン	82
8	汐見夏衛	51	7	ハリーポッター	82
9	芥川龍之介	41	9	思い思われ、ふりふられ	80
10	江戸川乱歩	28	10	この素晴らしい世界に祝福を！	77
11	宮沢賢治	27	10	あの花が咲く丘で君とまた出会えたら	77
12	志賀直哉	23	12	5分後に意外な結末	75
13	山田悠介	9	13	桜のような僕の恋人	73
			14	僕は明日昨日の君とデートする	71
			15	永遠の0	68
			16	人間失格	66
			17	コーヒーが冷めないうちに	44
			18	羅生門	35
			19	余命10年	29
			20	天気の子	21



3 活動の実際

(1) 読書タイム…平成11年度から、学校日課の中に朝のホームルーム後10分間、生徒も職員も全員で一斉に読書する時間を位置づけ、以来継続して本校の特色として取り組んできた。以下実施要項の概略を示す。(朝の読書タイム写真①②)

- ・読書の時間を特設することにより、読書離れを防ぎ、生徒の自主的な読書活動を促す。
- ・漫画や映像でなく「文字を長期にわたって」読むことにより、想像力・思考力・豊かな心を養う。
- ・読書を通して集中力と教科の学習能力を高め、生きる力を育てる。
- ・一日の日課の中で、時間帯を定めて毎日10分間、生徒も教員もともに本（漫画、雑誌、教科書類は除く）を読む。



読書タイム実施要項（抄）

1 目的

（１）読書の時間を特設することにより、読書離れを防ぎ、生徒の自主的な読書活動を促す。

（２）漫画や映像でなく「文字を長期にわたって」読むことにより、想像力・思考力・豊かな心を養う。

（３）読書を通して集中力と教科の学習能力を高め、生きる力を育てる。

2 方法

一日の日課の中で、時間帯を定めて毎日10分間、生徒も教員もともに本（漫画、雑誌、教科書類は 除く）を読む。

3 読書タイム4原則

みんなで（全校一斉、公平に）

毎日（コツコツと少しずつ、長期にわたって根気強く）

好きな本を（自分で、自分に合う本を見つけて）

ただ読むだけ（感想文や記録、速効を求めない）

実施にあたって注意すべきこと（基本ルール）

- （1）読む本は家や図書館等の本から選ぶことを原則とする。
- （2）S T開始前に本を準備させ、チャイムが鳴ってから取りに行くことがないように指導する。
- （3）机に出すのは本のみとし、私語やよそ事をさせない。
- （4）教員も特別な事情がない限りともに読書する。



4 実施時間

職員朝礼	8 : 3 5 ~	8 : 4 5
S T	8 : 4 5 ~	8 : 5 0
読書タイム	8 : 5 0 ~	9 : 0 0
1 限	9 : 0 5 ~	9 : 5 5

*行事のある日、考査期間は行わない。

読書タイムスタート（4月中旬） 朝の特別開館





(2) 平成20年度から、卒業までの3年間に、図書館の書籍100冊以上借りた生徒を多読者として表彰している。令和2年度末で95名に授与した。

(3) 平成9年から「青春の50冊」と題し生徒に読ませたい図書50冊を挙げ、その後平成23年度から「豊高50冊」に名称変更し、読破者の表彰も行なっている。これまで18名の読破者の氏名を図書館内に掲げている。

(4) 図書館だよりを年間5回作成し、各クラスで掲示して広報に努めている。

(5) 読書指導として、平成24年度から長期休業中も読書の継続を促すため、読書記録の記入と読書感想文の書き方を指導し、夏休みの課題として提出させている。平成29年度からは国語科の教員と協力し、読書感想文だけでなくPOP作成を選択課題とした。



*夏季休業中の読書記録（全員提出必須）、㊦POP作品（おすすめ本紹介文）または、㊧読書感想文（㊦㊧はどちらか一点提出）を課している。POPは先輩たちが作成したものが図書館に飾られているのを参考にして、年々インパクトのあるものや、美術作品として完成度の高いものが出てきている。（POP資料①②参照のこと）

*なお、POPの導入に当たっては2015年に読書週間でPOP作成の講座を開催して、図書委員がまず学ぶところから始めた。

（6）地域連携活動の一環として、令和3年度から豊田市中央図書館へ10代の図書貸し出しを促進するための提案や、POPの提供を行っている。（地域連携資料①②参照のこと）

*従来校内図書館でPOPの活用を進めてきたが、本校の図書館を見学された豊田市の職員から、ぜひ活用させてほしいとの依頼があった。豊田市中央図書館でPOPフェスタが開催されることとなり、本校の優秀作品をエントリーして展示していただいた。



夏期休業中の課題について

長期の休みで、読書タイムを、中断することにならないように、読書に関する活動を課題として出します。社会生活の基盤となる言語能力を身につけ、人生を豊かにするために、重要な事です。また、3年生になり、急に文章が読めるようになるわけではありません。日頃から、読み慣れて、物事を考える習慣がついている人は、受験に必要な国語力をさらに伸ばすことが出来ます。意欲的に読書に取り組みましょう。

以下のA・B（裏面）のどちらかを選択して、提出してください。

優秀作品は図書館で掲示します。

提出日 9月3日(木)

提出先 クラスの担任の先生

A 読書感想文

本を読み、読書感想文（1600字以上2000字以内）を原稿用紙に書いて提出する。優秀な作品は県の読書感想文コンクールに応募します。原稿用紙は各自で用意してください。*本について、著者名、出版社、刊行日なども記録しておきましょう。

対象の本はア・イいずれでも良い。

ア 自由図書

イ 課題図書

①わたしがいどんだ戦い1939年（評論社）

著者：キンバリー・ブルーベーカー・ブラッドリー 訳：大作 道子

本体価格：1,600円

②車いす犬ラッキー：捨てられた命と生きる（毎日新聞出版）

著者：小林 輝幸

本体価格：1,500円

③いのちは贈りもの：ホロコーストをいきのびて（岩崎書店）

著者：フランシス・クリストフ 訳：河野 万里子

本体価格：1,600円

B 読書記録

本を2冊以上読み、裏面の用紙に読書記録（必須）は全員提出する。

推薦文またはPOP（どちらか一つ）を書いて、提出する。

POP作成用に全員に清書のためのケント紙を配布します。（裏に氏名を記入する）

*自分で読み、自分で文章を書くこと。剽窃（コピペ）は犯罪です。

*原稿用紙の使い方や、文章表現、誤字脱字に注意し、丁寧な字で書きましょう。

提出する前に、自分で読み直しましょう。

*本について、著者名、出版社、刊行日なども記録しておきましょう。

夏期休業中の読書記録					提出日 : 9月3日 (月)
1 「読書タイム」の継続として、夏休み中も読書習慣を続けよう。読んだ本のうち、2冊について記録					
読書期間	書名	著者名	出版社	ページ数	
/ ~ /					
1	覚えておきたい事柄や心に残ったフレーズ、キーワードなど				
2	読後の感想・意見・反論・補足など				
2 上記2冊のどちらかについて、「オススメ本」として紹介文または、POPを書いてみよう。					
	書名「				
	著者名				
1年 組 番					





4 生徒図書委員会活動について

魅力的な図書館を作るには、生徒の興味関心を知り、友達への波及効果を狙い、生徒による委員会活動の活性化をすることだと考えた。

平成26年度から生徒による図書委員会活動を活性化するため、図書や読書に関わるようなテーマで、生徒が参加できる企画に取り組んできた。また、アイデアを出し共同作業を通して、企画の立案や役割分担の重要性に気づき、責任感を醸成し、図書館活動を通して学校や他の生徒の役に立つという、自己有用感、達成感を得て、次の活動に発展させている。

また、本校の朝の「読書タイム」があることの意義や伝統を委員会の生徒たちは感じており、委員会活動にも積極的に参加している。

(1) 毎月の企画展示・・・生徒の学校行事や国語科の授業教材の研究や紹介、四季折々の行事を図書委員が企画する。他の生徒が参加できるような内容を含み、関連する本の展示やポスター作成など広報も行なう。



(2) 「先生からのナツイチ」・・・図書委員全員で分担して校長はじめ教員全員に原稿を依頼する。夏休みの読書指導の一助になるように、先生お薦めの本の紹介リーフレットを作成する。教員の想いの詰まった文面に関心を持つ生徒もあり、展示された本を借りる生徒も多い。また、挿絵は生徒に依頼している。（「先生からのナツイチ」展示写真）

(3) 図書館清掃・蔵書点検・貸出返却のカウンター当番・・・毎日の清掃は一年生の図書委員が全員で行う。蔵書点検は、バーコードリーダーを複数台使用し、生徒が二人一組で4日間で点検する。その後不明図書の検索を行う。カウンター当番は二人一組で5日間行う。

(4) 読書週間の企画・・・コロナ禍以前には、講師を招いての「POP講座」や「絵本読み聞かせ講座」など参加型の企画や、吹奏楽部のコンサート（図書館コンサート写真参照）を行った。また、美術部や写真科学部など文化部の発表の場を担っている。



年間の主な行事

4月 図書館オリエンテーション・読書タイム告知、
豊高50冊展示

5月 部活動企画、学校祭参考図書展示

6月 オリンピック企画、「先生のナツイチ」原稿
依頼・集約（写真あり）

7月 七夕祭り企画（写真あり） 新着図書展示

8月 蔵書点検

9月 読書の秋企画（写真あり）

10月 ハロウィン企画

11月 読書週間企画（写真あり）

12月 クリスマス企画 新着図書展示

1月 合格祈願（写真あり）

2月 バレンタイン企画

3月 新着図書展示、多読賞表彰準備



*29年度からは、季節や行事、授業に合わせた「図書館の展示」を少人数で分担し、テーマの設定を始め、ポスター作成や本の選定、飾り付けなど学校司書と相談して完成させてきた。

*年度初めに、生徒のアイデアを募り、自分が参加したい企画の希望をとり、親しい友人と同じ企画に参加したりすることで、図書館の活動に積極的ににかかわり、作り上げようとする姿が見られた。

*企画書を作成させて、日程や必要な物品を計画的に考えさせるようにしている。事前に準備し当日に用紙を配付するなど、委員の生徒が主体的に関わり、役割分担も考えている。

*読書週間では、大学の先生による「絵本の読み聞かせ」、「POP作成」の講座（読書週間企画写真①②）を実施してきたが、コロナ禍で開催をやめた。しかし生徒達から、入館者数や、貸出冊数が増えるようなスタンプカードなどのアイデアも出された。



*展示にとどまらず、大掛かりな五輪のシンボルマークや、おみくじマシーン（ガチャポンボックス）等苦勞しながらも、楽しみながら工夫して完成させていた。

*「七夕」（七夕企画写真①②）「合格祈願」（合格祈願企画写真）などは、一般の生徒に人気の企画である。





先生からのナツイチ

先生からのナツイチ

先生からのナツイチ

先生からのナツイチ



先生からのナツイチ

先生からのナツイチ

先生からのナツイチ

先生からのナツイチ

先生からのナツイチ

リトルの涙

先生からの
ナツイチ

買出中

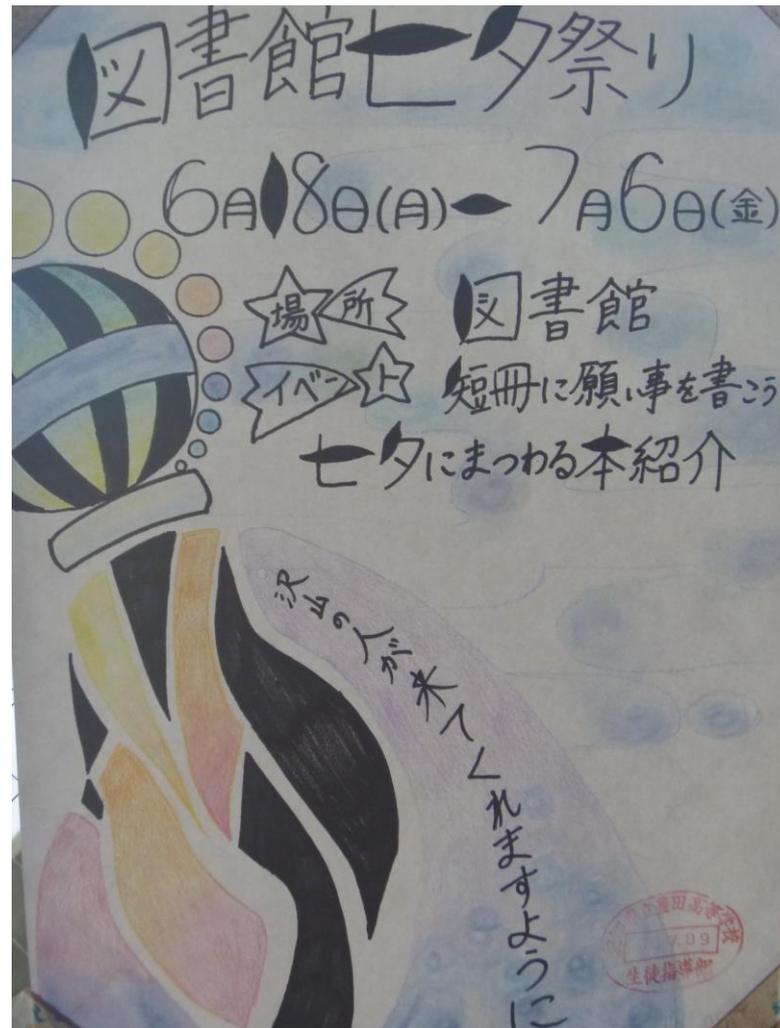
先生からの
ナツイチ

買出中

七夕企画



生徒制作の
ポスター





お月見企画



文豪企画



読書週間企画 宝島先生によるPOP講座 (2017年)



絵本読み聞かせ講座



読書週間企画 赤本配付



読書週間企画



読書週間 企画

ブック カバーづくり



合格祈願企画



図書委員長の所感（令和3年度「朝の読書大賞」受賞に際しての感想）

私たちの高校では、20年以上『朝の読書』を行っています。毎朝10分間、先生生徒一同教室で、本を読むことを通して、豊かな心を育てています。これをきっかけに本を好きになり、日々の生活に読書を取り入れる生徒が増えています。私もその一人です。中学校でも『朝の読書』のような時間はありましたが、その当時、私はあまり積極的に取り組んではいませんでした。しかし、高校入学前の春休みにコロナ感染症の影響で、外出できなくなった頃から本を読み始め、私は本の世界に惹かれるようになりました。高校に入学したら図書委員になろうと決めました。そして1年生から図書委員として、本校の『朝の読書』を盛り上げるために尽力しています。

本校では、学年ごとに指定された推薦図書を読む「豊高50冊」や、生徒が作成するPOPをその本とともに紹介展示する取り組みをしています。他にも季節や学校行事、授業に合わせた企画展示を1か月に1回行っています。

私は本校に入学し本に関わってきた2年間に、様々な企画に携わることで本に対する関心が大きく変わりました。これからもこの学校の読書活動を推進していくために3年生も図書委員を希望し頑張っていきたいと思います。



5 おわりに

以上のような取組を通じて、少しでも図書に触れ、親しみを感じる機会を設けることで、質の高い読書習慣を身につけ、知性を育み、生涯にわたって豊かな読書生活を送ってくださることを期待し、今後も地道な図書館活動を展開していきたいと考えている。

昨今社会情勢の大きな変化が猛スピードで起こっている。携帯電話いわゆるスマートフォンの普及及び動画の普及、コロナ禍でみんなが触れたものへの抵抗感などが顕著になっており、図書の貸し出し数自体は増えていない。しかし学校には施設があり蔵書もあり、生徒もいる。読書にこだわらず、生徒を主役として、図書とつながり、人とつながり、文化を育む場として活用していくことが、今後学校図書館に求められていくのではないかと思う。

ご視聴ありがとうございました。

